

埼玉県比企郡川島町議会

1 政策づくりと監視機能を十分に発揮している議会

(1) 川島町議会における災害対策要領を策定

町内で地震や台風、その他事象による災害が発生したときに、議員と住民が連携し、情報収集活動や救助活動、応急活動を行うための組織的な災害対策について、必要な事項を定めた災害対策要領を平成25年2月に策定した。

これは、災害のため町に災害対策本部が設置された場合、川島町議会内に川島町議会災害対策委員会を設置し対応するもので、震度5強以上の地震災害や台風などにより、災害が発生した場合、議会としての取り組みを規定している。

具体的には、災害時に各議員は、自身の安否、居所、連絡方法等を議会災害対策委員会に連絡することなどを規定し、現地においては、情報収集や安否確認、救助や応急活動、更には被災地または避難所等で、住民や区長等からの相談に助言を行うなど、災害時に議会としての役割を定めている。また、これらを実施するため、災害時議員行動マニュアルも作成している。

2 住民に開かれた議会

(1) 住民との意見交換会

住民と直接対話する機会を設けるため、平成26年度に試験的に住民との意見交換会を実施した。開催にあたっては、議員自ら勉強会を行い、今年度は障がいのある子の親等と文教厚生常任委員会の委員との意見交換会を実施した。障がい者福祉に関して、住民からのご意見を伺うなど、今後の議会活動に生かしている。今後も町内の各種団体等と意見交換会を実施していく予定である。

(2) 議会ホームページの充実

議会のホームページを開設し、議会情報を積極的に発信している。住民の議会への関心を高めるため、議会の日程や一般質問の内容等を事前に公表している。また、議長交際費の執行状況や議会の会議録、議会だよりをはじめ、議会の役割なども詳しく説明し、議員のプロフィールを掲載するなど、ホームページの充実に努めている。

(3) 議会だよりの充実

年4回議会だよりを発行している。常に住民にわかりやすく伝える工夫をし、定例会ごとに議会の状況を住民にお知らせしている。

議会報編集委員会では、レイアウトや掲載内容等を協議するため、発行ごとに4回の会議を開催しており、原稿の作成にあたっては、議員自らが執筆している。

(4) 議会傍聴

議会傍聴は24席であり、各定例会ごとに町内の各種団体等が傍聴している。出入りする傍聴者に配慮するため、首にかける名札を着用していただいているほか、セルフでお茶を提供するなど、住民サービスに心がけている。